

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991800093		
法人名	社会福祉法人 寿ノ家		
事業所名	寿ノ家 グループホームみさか		
所在地	山梨県笛吹市御坂町下野原 839-1		
自己評価作成日	令和 5年 11月 8日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaiakensaku.mhlw.go.jp/19/index.php">http://www.kaiakensaku.mhlw.go.jp/19/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
訪問調査日	令和 6 年 1 月 29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームは生活の再構築を目指し、一人一人の想いやこだわりを大切にすると共に「心を込めてひとりひとりを大切に」の理念のもと個々の生活を支える視点を持ち毎日を笑顔で暮らすことができるように努めている。  
また地域密着型サービス事業所として毎月、認知症カフェを開催し地域の方と一緒に学ぶ機会を作っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所では、認知症の方が安心して暮らせるように、職員が認知症について深く勉強して、自らが講師になって月に一度の研修会を開催しています。認知症の方を、安心して預かることのできる事業所として研鑽に努めています。事業所の敷地内に菜園を設けて、季節の野菜を栽培しています。収穫した野菜は利用者が刻み、盛り付けして食事に出されたり、白菜を用いたギョーザをみんなで作ってパーティーを開いたり、旬の野菜を使った楽しみの場が持たれています。看取りのニーズのある方には、往診医の先生による説明が行われ、同意された場合には看取りケアが行われています。看取り委員会にてエンゼルケアの研修が行われています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる(参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている(参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある(参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) <b>(※窓越しの面会など距離をとった交流)</b>	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている(参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている(参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている(参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている(参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている(参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(様式1)

自己評価および外部評価結果		事業所名	自己評価(実践状況)		外部評価	
自己	外部		ユニット名(小春)	ユニット名(日和)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「心をこめてひとりひとりを大切に」という法人理念と事業所目標について、職員研修をおこない全職員に周知している。 その事業計画に従って、個人目標を設定し取り組んでいる。	「心をこめてひとりひとりを大切に」という法人理念と事業所目標について、職員研修をおこない全職員に周知している。 その事業計画に従って、個人目標を設定し取り組んでいる。	新年度の4月に理事長による理念研修が実施されています。出られない職員には資料を配布して、受け取り確認のチェックを頂いています。能力開発シートには個人目標、チャレンジシートには職員チームによる目標を記入し、管理者がモニタリングを行います。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の員として日常的に交流している	新型コロナウイルスが5類になったこともあり、以前に比べ地域の方との距離も近くなったように思う。 屋外でのじゃがいも芋掘りや焼き芋などを楽しむことが出来た。	新型コロナウイルスが5類になったこともあり、以前に比べ地域の方との距離も近くなったように思う。 屋外でのじゃがいも芋掘りや焼き芋などを楽しむことが出来た。	利用者はコロナ禍の中で地域との交流はできていませんが、事業所の交流スペースを活用して、地域の方と職員による認知症カフェが開催されています。敷地内に菜園があり、運営推進会議の方が見えて芋ほり等の交流が行われています。	事業所の広報紙を作成し、家族をはじめ、地域の方に回覧で知っていただく取り組みについて検討願います。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々を対象に認知症カフェを毎月、開催している。 コロナ前にもカフェを開催していて、その時に参加してくれていた方が再び参加してくれている。	地域の方々を対象に認知症カフェを毎月、開催している。 コロナ前にもカフェを開催していて、その時に参加してくれていた方が再び参加してくれている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。コロナ禍ではリモート会議であったが、最近距離を取りながら同じ場所で会議を開き、事業所の課題や入居者の活動の様子を伝え、意見やアドバイスを頂いている。	2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。コロナ禍ではリモート会議であったが、最近距離を取りながら同じ場所で会議を開き、事業所の課題や入居者の活動の様子を伝え、意見やアドバイスを頂いている。	コロナ感染が5類になってからは対面による会議が開催されています。全ての家族に出席の案内を出していますが、出席していただけていません。運営推進会議から出された、日頃の生活の様子が知りたいとの意見を受けて、動画を作成し見ていただく機会を設けています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には市の介護保険課や地域包括の職員が毎回、参加して下さり相談や協力を頂ける関係性が出来ている。	運営推進会議には市の介護保険課や地域包括の職員が毎回、参加して下さり相談や協力を頂ける関係性が出来ている。	運営推進会議でのかわりを通して、広く情報交換が行われています。介護相談員との会議が定期的に行われており、2月にも予定されています。介護相談員は時々事業所を訪問しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人に委員会があり、委員が中心となりマニュアルに基づき職員への意識づけを行っている。 また、事業所内で「不適切な声掛けを無くそう」との目標を立て取り組んでいる。	法人に委員会があり、委員が中心となりマニュアルに基づき職員への意識づけを行っている。 また、事業所内で「不適切な声掛けを無くそう」との目標を立て取り組んでいる。	寿の家グループの委員会にはグループホームから一名の職員が出席しています。「不適切な声掛け」については、排泄場面における適正な声掛けについて研修しています。ペット柵を引き抜いてしまう利用者については、安全面から柵をベットに固定する対策をとっています。家族の同意と、実施の際の記録を残すようにしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	法人に委員会があり、委員が中心となりマニュアルに基づき職員への意識づけを行っている。 また、法人内でも職員研修も開催している。	法人に委員会があり、委員が中心となりマニュアルに基づき職員への意識づけを行っている。 また、法人内でも職員研修も開催している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	身体拘束、虐待防止同様に権利擁護について学ぶ機会を設けている。	身体拘束、虐待防止同様に権利擁護について学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退居において、説明を行い理解を得ている。また、重要事項等の変更時は説明し同意を得ている。	入退居において、説明を行い理解を得ている。また、重要事項等の変更時は説明し同意を得ている。		

(様式1)

自己評価および外部評価結果		事業所名	寿ノ家 グループホーム		[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]	
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(小春)	ユニット名(日和)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的にご家族様に連絡し様子を伝えたり意向の確認をしている。面会も時間と人数に制限はあるが対面で実施できている。	定期的にご家族様に連絡し様子を伝えたり意向の確認をしている。面会も時間と人数に制限はあるが対面で実施できている。	家族には面会時に意見を伺ったり、面会に来られない家族には、ケアプランを送付する際に、手紙を添えて意見を頂く取り組みをしています。意思表示の困難な利用者からは、お茶の時にコーヒー、ココア、昆布茶、レモンティー等を示して選択していただけるよう働きかけています。また、入浴の際は、着替えの服と一緒に選ぶ取り組みをしています。	事業所では、毎月の中で様々な行事が行われたり、日々の何気ない出来事から感動の場面が生まれています。こうした日常の様子を記録にして、家族や地域に発信されることを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ミーティングを開催し、その中で出た課題や意見等は課内会議やリーダー会議で報告し改善に繋げている。	毎月ミーティングを開催し、その中で出た課題や意見等は課内会議やリーダー会議で報告し改善に繋げている。	月に一度のリーダー会議では、事業所内で困っていること等を出していただき、管理者よりひとつひとつ対応を伝えています。課内会議(施設サービス・在宅サービス)での課題を話し合い、上層部へ上げています。職員との個別面談は、目標はもとより、プライベートな内容についても話し合っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	上期と下期において個人目標を立て個々に面接を行っている。	上期と下期において個人目標を立て個々に面接を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の職員研修では全体研修とステップアップ研修を毎月開催している。研修後は研修報告書を提出し取り組んだ成果を確認している。	法人内の職員研修では全体研修とステップアップ研修を毎月開催している。研修後は研修報告書を提出し取り組んだ成果を確認している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設のグループホームの管理者との交流会に参加しお互いの施設の情報交換を行うことができた。	他施設のグループホームの管理者との交流会に参加しお互いの施設の情報交換を行うことができた。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時は不安があるため声掛けしながら本人の言葉や表情を観察し記録に残すことで職員間で情報の共有をしている。	入居時は不安があるため声掛けしながら本人の言葉や表情を観察し記録に残すことで職員間で情報の共有をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に見学をしていただきご家族様より話を伺っている。ご家族との信頼関係が築けるように話やすい雰囲気心掛けている。	入居前に見学をしていただきご家族様より話を伺っている。ご家族との信頼関係が築けるように話やすい雰囲気心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様から話を伺い要介護度、ご家族様の状況、医療の必要性などを見極め必要なサービスの提案を行っている。	ご家族様から話を伺い要介護度、ご家族様の状況、医療の必要性などを見極め必要なサービスの提案を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のできる事が継続できるように出来ることを見出し役割が持てるように支援するように努めている。	本人のできる事が継続できるように出来ることを見出し役割が持てるように支援するように努めている。		

(様式1)

自己評価および外部評価結果		事業所名	寿ノ家 グループホーム		[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]	
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(小春)	ユニット名(日和)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者の状態に応じて必要時はご家族へ報告や協力依頼をしている。	入居者の状態に応じて必要時はご家族へ報告や協力依頼をしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にできた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルスが5類になったこともあり、対面面会ができるようになった。外出の機会も作れるようになったが状況に合わせて3日間の隔離が必要になる時もある	新型コロナウイルスが5類になったこともあり、対面面会ができるようになった。外出の機会も作れるようになったが状況に合わせて3日間の隔離が必要になる時もある	馴染みの方から電話が来ますが、利用者の認知症状から意思疎通が難しくなっています。理容は二か月に一度、訪問利用専門業者により実施されています。外食の機会は設けていますが、コロナ感染の影響を踏まえて、外食後は三日間の隔離対応がとられています。	利用者の馴染みの場所を、家族からの聞き取りや日々の会話の中から察して、外出できる体制の確保について検討願います。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの状況に合わせて、職員が会話の架け橋になれるように心掛けている。また、フロアの席も適宜調整しながら関わりが深められるように支援している。	一人ひとりの状況に合わせて、職員が会話の架け橋になれるように心掛けている。また、フロアの席も適宜調整しながら関わりが深められるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在はなし	現在はなし		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の言葉をゆっくり聞く事を大切にしている。アセスメントシートを活用する事で職員間で情報共有を行っている。	ご本人の言葉をゆっくり聞く事を大切にしている。アセスメントシートを活用する事で職員間で情報共有を行っている。	1人の職員が2~3人の利用者を担当しています。担当者は、受け持ちの利用者の誕生日には、中心となって内容の企画をしています。また、ケアプランの評価についてモニタリングを行い、ケアマネに繋げています。家族との連絡は、担当職員が主になって行い、リーダーがサポートしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族様より情報を得ている。今まで出来ていた事が継続できるように努めている。居室には、馴染みの物を持ってきていただいている。	ご本人やご家族様より情報を得ている。今まで出来ていた事が継続できるように努めている。居室には、馴染みの物を持ってきていただいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントシートを通して毎月の評価やカンファレンスやモニタリングにおいて定期的に見直しをおこなっている	アセスメントシートを通して毎月の評価やカンファレンスやモニタリングにおいて定期的に見直しをおこなっている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族様、居室担当、計画作成担当と一緒に話し合いサービス計画書を作成している。	ご本人、ご家族様、居室担当、計画作成担当と一緒に話し合いサービス計画書を作成している。	担当及びリーダーがモニタリングを行い、ケアマネが家族の意向を確認して介護計画を作成しています。週に一度、訪問介護職員が来所しており、必要なアドバイスを伺っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の申し送りで日々の様子を伝えケース記録に残している。また、情報共有ノートを活用し職員間で共有できている。	毎日の申し送りで日々の様子を伝えケース記録に残している。また、情報共有ノートを活用し職員間で共有できている。		

(様式1)

自己評価および外部評価結果		事業所名	寿ノ家 グループホーム		[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]	
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(小春)	ユニット名(日和)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて柔軟な対応が出来るように協力体制がとれている。	状況に応じて柔軟な対応が出来るように協力体制がとれている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との繋がりを大切にボランティアの受け入れをおこなっている。 畑で野菜を収穫した時には昔のことを思い出しながら行なえた。	地域との繋がりを大切にボランティアの受け入れをおこなっている。 畑で野菜を収穫した時には昔のことを思い出しながら行なえた。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族様に意向の確認をして主治医を選択していただいている。 必要に応じて主治医と面談できるように連携を図り緊急時の対応については都度、話し合いをしている。	ご本人、ご家族様に意向の確認をして主治医を選択していただいている。 必要に応じて主治医と面談できるように連携を図り緊急時の対応については都度、話し合いをしている。	事業所の嘱託医に変更される場合は、かかりつけ医に紹介状を書いていただき変更しています。嘱託医は月に2日、訪問診療を行います。家族によるかかりつけ医への受診に際しては、家族と主治医に手紙を書いて医療情報を提供しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の定期訪問で健康チェックがある。昼夜、相談できる環境が整っている。	週1回の定期訪問で健康チェックがある。昼夜、相談できる環境が整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入居時にはMSWとのやり取りを行い、退院時には入院中の情報をサマリ等を頂き情報交換を行っている。	入居時にはMSWとのやり取りを行い、退院時には入院中の情報をサマリ等を頂き情報交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取り指針を伝え同意をとっている。 看取り期になった時、ご意向の再確認をしている。	入居時に看取り指針を伝え同意をとっている。 看取り期になった時、ご意向の再確認をしている。	契約時に、食べられなくなったり、体力がなくなったりした場合の対応について、説明と同意がなされています。 看取りの状態になった時は、延命の是非について嘱託医から説明を行い、家族の判断を仰いでいます。看取りの結果亡くなられた利用者には、エンゼルケアが行われています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人内に委員会が設置されており、職員研修もしている。 緊急時や事故発生時の対応手順も整っている。	法人内に委員会が設置されており、職員研修もしている。 緊急時や事故発生時の対応手順も整っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人内に委員会が設置されており、定期的な研修会も実施している。 年2回の防災訓練を行い、災害時の地域との協定を結び一時避難場所として使用する体制が整っている。	法人内に委員会が設置されており、定期的な研修会も実施している。 年2回の防災訓練を行い、災害時の地域との協定を結び一時避難場所として使用する体制が整っている。	事業所はハザードマップエリアの対象外になっていません。また、地域の福祉避難所になっています。避難訓練は年に2回、日中と夜間の想定訓練を実施しています。訓練では、業者による消火栓や、消火器の使い方についての講習を受けています。避難訓練は、2ユニットの職員の連携のもとで実施されています。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	同性介護や異性介護の考え方については入居者の気持ち尊重して対応している。	同性介護や異性介護の考え方については入居者の気持ち尊重して対応している。	トイレは居室に備えられており、プライバシーが保護されています。入浴も一対一の対応であり、介護については同性介護を基本に、利用者の希望に沿って支援しています。入居者同士の関係性の中で、プライバシーに関わる場面の配慮に心がけています。	

(様式1)

自己評価および外部評価結果		事業所名	寿ノ家 グループホーム		[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]	
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(小春)	ユニット名(日和)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人の希望や思いを確認できるように努めている。本人から伝えられるように声掛けしている。	個人の希望や思いを確認できるように努めている。本人から伝えられるように声掛けしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の生活スタイルに合わせ、出来る限り、要望に添えるように支援している。	本人の生活スタイルに合わせ、出来る限り、要望に添えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に理美容に来ていただいている。着替えについては本人に選んでいただくように声掛けしている。	定期的に理美容に来ていただいている。着替えについては本人に選んでいただくように声掛けしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付けは一緒に行うようにしている。誕生日や行事などは食べたい物を聞いて提供している。	食事の準備や片付けは一緒に行うようにしている。誕生日や行事などは食べたい物を聞いて提供している。	本体事業所から届けられるおかずを湯せんし、手作りのご飯とみそ汁を提供しています。利用者は盛り付け、お皿拭き、テーブル拭き等を担っています。利用者の嗜好は、話せる方から聞き取ったり、家族からの聞き取りで把握して提供しています。嫌いなものについては、代替の食事が提供されています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量については個々のチェック表に記入している。必要時には管理栄養士に相談できる体制が整っている。	食事量や水分量については個々のチェック表に記入している。必要時には管理栄養士に相談できる体制が整っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々に合わせた口腔ケアを支援している。協力歯科医があり、定期的に口腔内のケアを行ってかれている。	毎食後、個々に合わせた口腔ケアを支援している。協力歯科医があり、定期的に口腔内のケアを行ってかれている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄時間、リズムやタイミングを把握して、トイレ誘導や排泄交換を行っている。	個々の排泄時間、リズムやタイミングを把握して、トイレ誘導や排泄交換を行っている。	排泄時にはズボンの上げ下ろしや、拭き取りが自らできるよう見守りながら、必要な支援をしています。排泄は定時誘導から、尿意を感じて、行きたい時に行かれるタイミングで誘導しています。夜間は、オムツ使用の方や、トイレに行かれない方はポータブルトイレによる対応がとられています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて個々の排泄パターンを確認している。また主治医や看護師に相談して指示をいただいている。	排泄チェック表にて個々の排泄パターンを確認している。また主治医や看護師に相談して指示をいただいている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそって支援をしている	その日の状態や気分に合わせて入浴時間や入浴日を調整している。希望があれば同性介護に対応している。	その日の状態や気分に合わせて入浴時間や入浴日を調整している。希望があれば同性介護に対応している。	楽しみの一環として、季節のゆず湯が提供されています。また、利用者の中には、お気に入りのシャンプーや石鹸を使う方もいます。自立している方はご自身で時間を決めて入浴しています。拒否のみられる時には、入浴日や時間を変えて対応しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態や体調に合わせて離臥床が出来るようにしている。日中も体調を確認して休息の時間を作っている。	個々の状態や体調に合わせて離臥床が出来るようにしている。日中も体調を確認して休息の時間を作っている。		

(様式1)

自己評価および外部評価結果		事業所名	寿ノ家 グループホーム		[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]	
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(小春)	ユニット名(日和)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬は全て管理している。 個人ファイルに処方内容がファイルされているため都度確認が出来るようになっている。 また、主治医や薬剤師への相談も出来る体制がある。	内服薬は全て管理している。 個人ファイルに処方内容がファイルされているため都度確認が出来るようになっている。 また、主治医や薬剤師への相談も出来る体制がある。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意な事、好きな事が継続できるように担当職員が中心となり見出し出している。	得意な事、好きな事が継続できるように担当職員が中心となり見出し出している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	新型コロナウイルスの流行があり、なかなか外出の機会が作れていない。 近所等への散歩に留まっている。	新型コロナウイルスの流行があり、なかなか外出の機会が作れていない。 近所等への散歩に留まっている。	事業所周辺の散歩が行われています。利用者の誕生日には、近くのケーキ屋に出かけています。ドライブに出たいがマンパワー不足から、実施できていないと管理者から伺いました。	運営推進会議において、ドライブ時のマンパワーの協力等、利用者の余暇支援のあり方について、課題提起してみるのはいかがでしょうか。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は自身で所持している方はいないため管理はこちらで対応している。 預り金は出納帳だ管理しご家族様に定期的に報告している。	現在は自身で所持している方はいないため管理はこちらで対応している。 預り金は出納帳だ管理しご家族様に定期的に報告している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時は都度対応している。携帯電話を持っている方もいる(2名) 1名はこちらで管理し、電話があった時は本人に渡して話しをしてもらっている。	希望時は都度対応している。携帯電話を持っている方もいる(2名) 1名はこちらで管理し、電話があった時は本人に渡して話しをもらっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間については温度や湿度調整を行い気持ちよく過ごしていただけるように心掛けている。	共有空間については温度や湿度調整を行い気持ちよく過ごしていただけるように心掛けている。	共有空間では、皆ができる体操をDVDで流して楽しんでいます。また、事業所の菜園で収穫した野菜を使った料理を、利用者が出来ることを担いながら取り組んでいます。行事担当職員が、その月の行事を企画して、居心地のよい空間になるよう尽力しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの配置や入居者同士の関係性にも配慮して席を用意している。	テーブルの配置や入居者同士の関係性にも配慮して席を用意している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みのある家具等を持ち込んでいただくようにご案内している。 本人とご家族様に相談しながら工夫している	入居時に馴染みのある家具等を持ち込んでいただくようにご案内している。 本人とご家族様に相談しながら工夫している	居室にはベッド、洗面所、防災カーテン、エアコンが備えられています。利用者の中には、鏡台、仏壇、テレビ等、入居前からの馴染みの物が持ち込まれています。利用者一人ひとりの感受性に配慮して、採光等が配慮されています。居室にはイベント時の写真を貼っています。退去時には、思い出の写真をアルバムにして家族に渡しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事、得意な事が継続できるように見守りや声掛けをしている。	出来る事、得意な事が継続できるように見守りや声掛けをしている。		